

事務事業名	出前講座開設事業			担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	社会教育法第20条・22条						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費		1. 社会教育総務費		
事業概要	本市における生涯学習推進のため、いつでも、どこでも、だれでも、なんでも気軽に学ぶことのできる学習プログラムとして、合併を機に平成21年度より開始した。市民が受講したい講座をメニューより選び申し込み、講師が出向いて講座を開催するもの。市職員が講師となる行政編と市民ボランティアが講師となる趣味・教養編がある。市民が手軽に学べる機会を提供すること、市民に市政を知ってもらうこと、市民が学んだ成果を生かす場を提供することを目的として実施している。 市民ボランティア講師謝礼 1,000円/回						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 出前講座のメニュー 188講座（趣味・教養編100講座、行政編88講座） 2年度計画 ・趣味教養編（96講座）、行政編（94講座）を加えた190講座で開講。 年間170件開講予定 ・個人・団体・企業への広報、普及啓発	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	出前講座開催数	回	155	174	173	166	170
	イ	出前講座利用者数	人	4,316	4,470	4,879	4,464	4,500
	ウ	講師謝金	千円	127	132	134	160	130
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内在住者（18歳以上の者）及び在勤者（15歳以上の市流入者）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	市内在住者（18歳以上の者）及び在勤者	人	81,571	81,453	81,516	81,393	81,371
	イ							
	ウ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・市民が手軽に学べる機会を提供することにより市民の学習意欲の向上を図る ・市民に市政を知ってもらう	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	出前講座受講者数	人	4,316	4,470	4,879	4,464	4,500
	イ							
	ウ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市政への理解と学習活動による市民の生きがいづくり	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	学習テーマをもって学習に参加している市民の割合 (市民意向調査による)	%	29.1	27.4	29.0	29.1	30.0
	イ							
	ウ							
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	127	132	134	160	130	
	事業費計(A)	千円	127	132	134	160	130	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	190	190	200	200	200
		人件費計(B)	千円	789	789	834	809	809
トータルコスト(A)+(B)		千円	916	921	968	969	939	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成21年3月の合併協議のなかで、合併前に各市町で実施していた市民企画講座（真岡市）と出前講座（二宮町）を統合し新たに「出前講座」を実施することとなった。平成21年度に準備を進め、12月より開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成25年度の130講座の内容を充実させ、平成31年度は188講座に増加した。その結果、利用者数も年々増加し、4,400人超となっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	受講者の意見 ・出前講座をとっても有効的に活用でき、充実した研修会になっている。 ・今後の引き続き出前講座でいろいろ学んでみたいとの声がある。 ・講師謝金の負担が無い点も良い。 ・小中学校、幼稚園、各種団体に普及したことで、手間と費用の軽減になったと好評である。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生涯学習は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学習の場を提供することは学習意欲の向上につながる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内在住者又は在勤者を対象に学習の機会を提供している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市民の求めに応じて出前講座を実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止した場合、市民の学習の場と生きがいづくりを図る機会が失われる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 市民ボランティア講師を依頼した場合の謝礼で、1回1000円と最低限の事業経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 出前講座を実施するための最低限の経費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内在住者又は在勤者を対象としている。また、講師謝金以外の材料費等は、全て参加者負担である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							